

視察研修

8月4日(月)、横須賀市にある“独立行政法人 港湾空港技術研究所”の施設を見学させていただきました。この施設は、港湾や空港の整備等に関する調査・研究・技術開発を行っています。

いくつか実験棟を通り、13m四方、水深2mの水槽の底に直径6mの振動テーブルが設置された「三次元水中振動台」と、長さ184m、幅3.5m、深さ12mの世界最大規模の津波実験装置「大規模津波水路」を見ました。

見学の後は、主任研究官 本多和彦氏から、「津波について」のご講演を受けました。津波の発生機構、津波の性質、津波の被害、防災教育、そして、藤沢市における想定津波を映像で見せていただき、「天災は忘れた頃にやってくる」にならないよう、常日頃からの備えをしなければと気が引き締まる研修となりました。(五十嵐)

学園都市むつあい協力者会議って？

〈目的はな～に？〉

子どもたちの健やかな成長を支援するため学校・家庭・地域が、むつあい独自のネットワークを組み、「ゆとり」と「ふれあい」を育む地域作りを目指しています。

〈どんなことをしているの？〉

- 小学生・中学生・高校生の交流事業
- 六陵祭文化部門(六会中学校)において、生徒が主体的に参加できる企画の提案
- 関連団体からの依頼に対する支援

メンバー紹介(^)/

六会中学校校長	中村 裕司 (副会長)	六会中学校PTA会長	峰尾 智子 (委員)
六会小学校校長	小 沼 徹 (委員)	六会小学校PTA会長	本多宏行 (委員)
亀井野小学校校長	倉 幸 一 (監事)	亀井野小学校PTA会長	北橋 節男 (会長)
天神小学校校長	夏目和幸 (委員)	天神小学校学級世話人会代表	増山 裕美 (委員)
日本大学藤沢高等・中学校校長	小 松 実 (委員)	六会中学校おやじの会会長	北橋 節男 (会長)
県立藤沢工科高等学校校長	笹原 哲也 (委員)	六会小学校おやじの会会長	森田 真司 (委員)
県立藤沢養護学校校長	佐藤 憲司 (委員)	亀井野小学校親亀会会長	小野 秀和 (委員)
日本大学生物資源科学部庶務課長	近藤 広樹 (委員)	県立藤沢養護学校PTA会計	野口ゆみ子 (書記)
多摩大学グローバルスタディーズ学部学生課長	瀧川 浩人 (委員)	自治会連合会会計	岡安 忠夫 (会計)
善行森の幼稚園園長	古郡 愛子 (委員)	社会福祉協議会副会長	小池 裕子 (監事)
六会幼稚園理事長	平 川 弘 (委員)	民生委員・児童委員協議会副会長	瀬戸 恵子 (委員)
六会保育園園長	赤塚 里江 (委員)	民生委員主任児童委員	桜本 和枝 (書記)
亀井野保育園園長	加藤 和幸 (委員)	民生委員主任児童委員	玉腰 巳佳 (委員)
		民生委員主任児童委員	市川まどか (委員)
		青少年育成協会会長	五十嵐直美 (副会長)
		青少年育成協会副会長	田口由美子 (委員)
		青少年指導員	湯川 恵子 (委員)
		湘南ベルマーレスポーツクラブ事務局長	藪 田 稔 (委員)

平成26年12月1日現在



<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/manabi/page100368.shtml>

※ホームページアドレスが長いので、「藤沢市ホームページ」を開いて、右上に「三者連携ふじさわ」と入力し、検索すると開きます

三者連携ふじさわ

学園都市 むつあい 第14号

発行: 学園都市むつあい協力者会議

編集: 広報担当

14年目の「むつあい」

学園都市むつあい協力者会議

会長 北橋 節男



景気や経済活動が一番に騒がれ、生活水準や数字ばかりが話題に上る今の日本ですが、本当に私たちの家庭を守るのには「地域連携」だと考えています。中でも、弱者である児童・生徒たちを守り育てていくのが、学校・家庭・地域の三者連携の活動です。各校の校長先生をはじめ、PTA・おやじの会や地域の各団体と意見交換できることに本当に感謝しています。

六会は、命名からもわかるように学校の多い「学園都市」です。日本大学や多摩大学、藤沢工科高、藤沢養護学校、日大藤沢高校・中学、六会中、六会小、亀井野小、天神小で交流を行い、秋には小中高6校の学校間交流もスケジュール調整で御苦勞を掛けておりますが、毎年実施しています。

また地域とつながるために、9月の六会中六陵祭を活動の発表の場としました。各団体が工夫を凝らして、教室やコモンスペース・中庭で特色ある展示・演技を行っています。震災にかかわる地域との交流も続いています。

六会らしさを心掛けており、かめっこ広場・学校安全ネットワークの運営にもかかわっています。六会幼稚園・善行森の幼稚園・六会保育園・亀井野保育園・湘南ベルマーレとメンバーも増えて多彩です。自治連・青少協(講演会を共催)・民児協とも協力しながら、元気な地域の子どもの力になるべく、活動してまいります。

六 陵 祭

六会中学校 副会長 中村 裕司

六陵祭文化部門のように三者連携として学校内で積極的に発表を行う形は市内でもあまり例がありません。それだけでなく参加者同士がお互いを知るよい機会にもなります。

展示として、1階では昨年からのコモンスペース開催が始まり、学園都市・藤沢養護・善行森の幼稚園・六会幼稚園・おやじの会等が参加、震災関連の展示や金魚ねぶたに代わるパフォーマンスも話題でした。技術室では藤沢工科高校の生徒たちが物づくり体験を指導してくれました。3階の青少協のお芋・多摩大学グローバルスタディーズ学部の国際交流・日本大学生物資源学部展示も含め、どこも工夫が凝らされ盛況だったようです。



午後、日大藤沢高等学校のダンス部や吹奏楽部の発表は兩バージョンでの開催となりましたが、条件の悪い中でも一生懸命演技・演奏する姿が印象に残りました。

今年も市民センターを軸にして各方面からの多くの協力が得られました。これからも地域で連携し、子どもたちの成長と安全を支える活動の1つとして大切にしていきたいと思っております。文化部門開催にご協力・ご理解をいただき改めて感謝申し上げます。